

# 平成29年度事業報告及び附属明細書

平成29年4月1日から平成30年3月31日までの事業につきまして、その概要を関係資料を添えて報告いたします。

## 1 概況

平成29年度は、現職事業で「カフェテリアプラン助成事業」を新たに実施するとともに、引き続きランチセミナーなどを開催し、組合員の元気回復支援等を推進したほか、貸付事業につきましては、平成29年7月より貸付利率の引下げを行い利便性向上による利用拡大に努めました。

退職互助部事業では、退職互助部制度への加入促進策の一つとして「リフレッシュ活動費」を創設したほか、未加入者を対象に「加入特例措置」を実施しました。

公益目的事業は、支出計画に基づき、対馬市と長崎市を対象としたスクールコンサートを実施しました。

### 収入について

掛金収入は、現職組合員数や平均給料月額の減少により、前年度比で約1千1百万円減少しました。

資産運用益(利息収入等)は、マイナス金利政策の影響による低金利、及び有価証券残高の減少により、前年度比で約7百万円減少しました。

貸付金利息は、貸付残高は前年度比で増加しましたが、平成29年7月の利下げの影響で微増に留まりました。

生命保険受取手数料は、現職組合員数の減少に伴う取扱件数の減少により前年度比で微減しました。

### 支出について

現職の事業費は、退職慰労金が増加したものの、その他給付事業費の減少や、管理費等の縮減に努め前年度比で減少しました。

退職互助部の事業費は、リフレッシュ活動費の創設や医療補助金が増加したものの、支払準備金積算方法の見直しにより給付事業にかかる支払準備金の繰入がなくなり、前年度比で減少しました。

### その他

資産運用では、債券を6億5千万円売却し売却益を約1千9百万円計上しました。

退職互助部未加入者加入特例措置の結果、465名(本人358名、配偶者107名)の方が新たに退職互助部へ加入されました。